

## 第7回養老町子ども議会

令和5年11月22日(水) 午後4時より  
養老町役場 4階議事堂で開催



第7回養老町子ども議会が養老町役場議事堂で開催された。

高田・東部両中学校の3年1名ずつが議長となり、また、各クラスの代表12名が議員になり、養老町の将来について自分たちの考えを提案発表した。

生徒は町の課題をあげ、アンケート調査や、ポスター制作、動画制作などに取り組んできた。

中学校2年生の生徒及び先生は、議場内で傍聴し、保護者及び議員は、4階大会議室でライブ映像により傍聴した。

中学生は各クラスで話し合いを重ね、分析・調査をし、まとめた意見や提案を緊張しながらも、堂々と発表し



た。それに対し、町の担当課より現在取り組んでいることを踏まえ、感想を述べた。

### 中学生の主な意見・提案

・養老町の魅力を発信するためのポスターを制作し、商店等に掲載する。  
・アートの力で商店街を活性化する。

・ターゲットを10代にし、自然を生かした施設やカフェを作る。

・養老町の特産品PR動画やポスターを作成する。



### 中学生の感想

・養老町のPRが弱いので、町民の意見を反映するPRがとても良いと思いました。

・養老町はただ住んでいる土地だったけれど、産業や教育に目を向け、関係のないことではなく、養老町の未来を託された若者の一人として身近なものであるという考えに変わりました。

・より良い養老町を作り上げるには、養老町民みんなが協力することが必要だと思いました。  
・町のために、行事やボランティアに参加していきたいです。  
・行政を行う上では、様々な所に目を向け、その案に不十分な所はないか、細かく考える必要があるのだと分かりました。  
・選挙権を持った時、一人一つの権利を無駄にせず、投票に行き、行政に関心を持つていこうと感じました。

・養老町をより良くするため、政治にも積極的に参加したいと思っています。  
(教育委員会に届いた感想一部抜粋)

## 子ども議会参加者にインタビュー

高田中学校 代表  
3年1組発表

「養老町の魅力発信ポスター制作とシャッターアートで高田商店街を活性化」  
(12月7日取材)(敬称略)



高田中学校 栗田 宗一郎

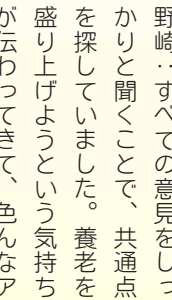
栗田：閉店したお店があった寂しいので、ちょっとした明るくしたいという声がありました。



高田中学校 幸田 華乃

幸田：ポスター制作です。養老町に行きたいと思ってもらえるように、魅力を伝えられるようなイラストを

何回も話し合って、時間をかけて作りました。  
議長として心がけたことは？



高田中学校 野崎 優一郎

野崎：すべての意見をしっかりと聞くことで、共通点を探していました。養老を盛り上げようという気持ち

野崎：生徒たちは前に見えるんですけど、横を見たら大人たちがいっぱいいて圧が…。(笑)

またあの席に戻りたいという気持ちはある？  
野崎：うん(笑)

取材をして、発表した中で、苦労した点は？

栗田：僕たちはポスターを作ったんですけど、生徒が直接行ったんじゃないかと、担任の先生にお願いしに行ってもらって、町内寄りになつてしまい、町外へのポスターの掲載ができなかった。先生は養老鉄道にも声をかけてみたらと言ったけど、できなかった。もっと広い所へ知らせなければ良かったなと思いました。難しかったです。

子ども議会が終わったからの変化は？  
栗田：近所の方から「こんなふうに中学生が養老町を盛り上げようとしてくれてありがとう」というようなことを言ってもらえて、行動が知ってもらえたことで、ありがたいなと思いました。

幸田：養老町に対して中学生がどういう活動をしているかを知ってもらえる機会が増えたので、良かったかなと思います。

野崎：「養老町をより良くしよう」と行動しているのは「すごい」と言われました。自分たちが取り組んだ後の養老町は見え方が違うというか、別の角度から見えたので、良かったと思います。

### 正副委員長感想

本来なら商店街が活気がないやダメだけど、みんなが何とかしようと、ポスターとかアートを提案してくれて、ありがたい。議会としても何とかできるように努力したい。その時は、皆さんにその絵を描いてほしいなと思う。若い子の発想がいい。

また議長席に戻りたいと言ってもらい、心強く思いました。ぜひ引き続き町のことを考えてくれれば、本当に嬉しく思います。

私たちがインタビューしました



委員長 清水 由美子



副委員長 吉田 太郎

東部中学校 代表  
3年3組発表

「養老鉄道やオンデマンドバスをもっと利用してもらうには」  
(12月14日取材)(敬称略)



東部中学校 末谷 彰大

末谷：私たちのクラスは建設課に興味がある人が多く、この提案にしました。建設課の方のお話を聞いて、周辺のスポットを活用した取り組みを増やしていくことで、養老鉄道やオンデマンドバスを利用する人をもっと増やせると思ったからです。

調査で難しかったことは？



東部中学校 宮島 愛子

宮島：養老鉄道では養老百景などの取り組みをしていることが分かったけど、オ

ンデマンドバスは、利用方法を知らなくて、インターネットで調べても見つからなくて、必要な情報を見つけないのが難しかったです。

養老鉄道を利用してる？  
末谷：大垣に買い物に行ったり、友達と遊ぶために電車を利用したことがあります。

議長として心掛けたことや注意したことは？また議長席からの印象は？



東部中学校 天野 竣介

天野：みんなの気持ちとかが伝わるように、司会進行が乱れず、原稿を一言一句はつきりと言葉のように努めました。

議長席に座ると全体が見えて、政治の中心にいるような感じでワクワクしました。  
(おー、という声とうなずき)

子ども議会が終わって、こうすればよかったと思うことは？

天野：高田中の方とコミュニケーションをとって話せたら、より良い議会ができたんじゃないかなと思いました。

末谷：僕はめちゃくちゃ緊張して、最初はカミカミで、早口になってしまったりで、自分の中ではもっとこうしたいのに、もっとわかりやすく工夫できたのに、緊張しすぎて、話をどんどん進めてしまい、他のみんなのように喋ればよかったなと思いました。

子ども議会が終わって変わったことは？

宮島：政治は身近なのに内容が難しかったけれど、子ども議会ですべて話せた機会があり、政治にもっと興味わきました。

末谷：子ども議会について準備をしていく中で、例えば国会とか、発表する前の準備がすごく大事だなというのを、実感しました。

天野：最近公民の授業で自治体を勉強して、公共団体だけじゃなく、国も運動して、自分たちの声が届いているんだと、議会を通してそういう体験ができたことはいいなと思いました。

まだまだ若いから、色々な経験をもっとして欲しいなと思います。そうした経験をしながら、養老町のためにも頑張ってもらいたい。

また、18歳になり選挙権を持ったら、この経験を生かして、ぜひ選挙に行きたいです。